報道関係者各位

2026 年 6 月 19 日

特性や障がいのある学生の早期キャリア形成を支える 企業×大学初の共創プログラム「ableto 次世代のプレキャリアプログラム 2026 in 関西」の成果報告会を 6 月 29 日（月）に開催 「企業×大学×NPO」による社会移行プラットフォームの実装へ向けて

特定非営利活動法人ディーセントワーク・ラボ（東京都大田区、代表理事：中尾文香）は、企業や大学と連携し次世代のキャリア形成を支えることを目的として、2026 年 6 月 6 日（土）に開催した、特性や障がいのある学生向けのキャリアイベント「ableto 次世代のキャリア形成プログラム 2026 in 関西」の成果と示唆を広く共有するため、企業・大学関係者・メディアの皆さまを対象とした成果報告会を、2026 年 6 月 29 日（月）に京都大学にて開催します。



本イベントでは、「ableto 次世代のキャリア形成プログラム 2026 in 関西」で行われた、学生が企業との対話や実践的なワークを通じて、自身の強みや特性、必要な配慮について理解を深め、自分らしいキャリアのあり方を模索していく過程を共有します。

企業側が学生の多様な価値観や特性に触れながら、採用や職場づくりにおけるコミュニケーションのあり方や受け入れ環境についてどのような気づきを得たのか、また、障がいや特性のある人材の雇用を取り巻く複雑な社会課題に対して、包括的なネットワークによるブレイクスルーの可能性をテーマにクロストーク

を開催します。

本イベントは、障がいのある学生のキャリア形成支援と、企業の受け入れ環境づくりの両面に関心を持つ方にとって、具体的なヒントや示唆を得られる機会となります。

■「ableto 次世代のプレキャリアプログラム 2026 in 関西」成果報告会

日時：2026 年 6 月 29 日（月）13:30～15:30（13:15 受付開始）

会場：京都大学 国際科学イノベーション棟 5F HORIBA シンポジウムホール
（京都府京都市左京区吉田本町 国際科学イノベーション棟）

参加費：無料（事前申込制）

対象：企業担当者で障がい者雇用に携わっている方・関心のある方、大学支援者の方、メディア関係者

主催：特定非営利活動法人ディーセントワーク・ラボ

共催：京都大学 学生総合支援機構 附属ディスアビリティ・インクルージョンセンター（DIIN Center） ／ アクセンチュア株式会社

協力：大阪大学 ウェルネス推進機構 健康支援相談センター相談支援部門 アクセシビリティ支援室 ／ 神戸大学 インクルーシブキャンパス＆ヘルスケアセンター 障害学生支援部門 ／ 和歌山大学 キャンパスライフ・健康支援センター キャンパスライフ支援部門

申し込み：https://forms.office.com/r/61iPQZzrLi

※1 本イベントは、オンラインでもご参加いただけます。

※2 ableto の活動において、総合コンサルティング企業のアクセンチュアは、社会貢献活動の一環として、障がい・特性のある方の就労・キャリア形成を支援しています。

■ プログラム内容

13:30～ 開会

13:35～ 基調講演「障害のある学生の修学と就労 ― 現状と課題」

登壇者：京都大学 ディスアビリティ・インクルージョンセンター センター長・准教授 村田 淳

13:50～ 講演「『対話』がひらく組織の可能性 ～特性や障がいのある学生・若年者の修学・就労を支えるプロジェクト ableto のご紹介～」

登壇者：NPO 法人ディーセントワーク・ラボ 代表理事 中尾 文香

14:05～ 実践報告①「就労移行期の困り感を体験で超えるプログラム設計」

登壇者：NPO 法人ディーセントワーク・ラボ 高橋 亜矢子

14:25～ 実践報告②「インクルーシブな就活を考える-ワークショップより得られた示唆-」

登壇者：大阪大学 ウェルネス推進機構 健康支援相談センター 相談支援部門 アクセシビリティ支援室 特任研究員 永井 友幸

14:45～ 休憩

14:55～ クロストーク「特性や障がいのある学生・若年者の次世代のキャリア形成と社会移行プラットフォームの実装へ向けて」

登壇者：

NPO 法人ディーセントワーク・ラボ 代表理事 中尾 文香

アクセンチュア株式会社 デジタルコア シニア・マネジャー 市本 真澄

京都大学 ディスアビリティ・インクルージョンセンター センター長・准教授 村田 淳

大阪大学 ウェルネス推進機構 健康支援相談センター 相談支援部門 アクセシビリティ支援室 特任研究員 貝原 亮

15:25～ 閉会

15:30～ 名刺交換会・交流会

※各テーマは内容変更の可能性があります。予めご了承ください。

■「ableto 次世代のキャリア形成プログラム 2026 in 関西」について

私たちディーセントワーク・ラボは、アクセンチュア株式会社、京都大学 ディスアビリティ・インクルージョンセンターとともに、特性や障がいのある学生と企業が仕事の模擬体験を通じて相互理解を深め、「仕事の進め方」や「関わり方」について学ぶ機会を創出することを目的とした合同プレキャリアイベント「ableto 次世代のキャリア形成プログラム 2026 in 関西」を実施しました。

当日は、学生が企業・大学関係者とともに体験テーブルに参加し、企業サービスの改善提案などをテーマにした実践課題や、就活に関する困り感と示唆を整理するワークショップ等を実施しました。当初は緊張した様子も見られましたが、対話を重ねる中で活発な意見交換が生まれ、学生からは自身の考えを言葉にすることへの自信や新たな気づきが共有されました。また企業側からも、学生ならではの視点や発想に対する驚きや学びの声が寄せられ、立場を越えた相互理解が深まる機会となりました。





■ **登壇者情報**



NPO 法人ディーセントワーク・ラボ 代表理事
中尾 文香

福祉事業所が作る小物ブランド equalto（イクォルト）や就労支援事業所への伴走型支援、2017 年には企業を対象としたコンサルティング支援をスタート。障がい者就労・雇用・QWL 等をテーマに研修や講演など幅広く活動する。研究のテーマは、障がい者就労・雇用、QWL、ディーセント・ワーク、社会課題と SDGs。



京都大学 学生総合支援機構・准教授
ディスアビリティ・インクルージョンセンター センター長
村田 淳

2007 年より京都大学における障がい学生支援に従事し、現在は障害学生支援部門長。組織的な支援体制の構築や合理的配慮の提供に従事する一方、同分野に関するネットワークの構築や社会資源・多職種等との連携・協働体制を基盤に様々なプロジェクト等を行う実践家。

■ **「ableto」の今後の展開について**

ディーセントワーク・ラボでは今後、本プログラムの年次開催とエリア拡大、および連携企業の募集を進めてまいります。

・今後の展開スケジュール

関東： 2026 年 11 月に東京での体験プログラムを開催予定
関西： 関西圏での継続的な年次開催に向けて調整中

・拡充プログラム予定

体験機会の拡充：業務体験、対話ワークショップ、OB 交流、企業見学会 など

・共創パートナー企業様の募集

2026 年 11 月の東京開催にて、仕事体験コンテンツの提供をご検討いただける企業を募集いたします。さらに長期的な視点での障がいや特性のある若者育成、雇用型インターンシップ、自社社員へのインクルーシブ教育、および次世代の採用・教育施策の共同検討など、未来を見据えた連携のご相談・お問い合わせをお待ちいたしております。

【ableto に関する問い合わせ先】

特定非営利活動法人ディーセントワーク・ラボ
〒145-0062 東京都大田区北千束 3-28-9 VAN フラッツ 401
email： ableto@decentwork-lab.org

HP： https://decentwork-lab.org/
担当：高橋

■ 取材について

報道関係者の皆さまの取材を受け付けています。
当日の取材、登壇者への個別取材をご希望の場合は、事前に本リリースの問い合わせ先までご連絡ください。

■ NPO 法人ディーセントワーク・ラボについて

すべての人の「ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）」「ディーセント・ロール」の実現を目指し、様々な活動を行う団体です。一人ひとりが、どこかのコミュニティやグループの中で「役割」があることをとても大切にしています。そして、本人も周りの人たちもその「役割」を認識できるような環境をつくっています。特に、ディーセント・ワークの環境が十分に整っていない障がいのある人が個々の力を発揮することで、チームとしての成果が最大化するように職場づくりを支援し、その活動を通して全ての人の「働く」を考えていきたいと考えております。そのために、実践と研究で培った専門的知見をもとに、障がい者雇用に取り組む企業への伴走型支援を提供しています。
NPO 法人ディーセントワーク・ラボの詳細は https://decentwork-lab.org/ をご覧ください。

また、福祉事業所のものづくりブランド equaIto を企画、運営、働きやすい職場について調査研究し、分かりやすく伝える活動、多様性を体験する「トントゥフェスティバル」の企画や運営を行っています。

■ 京都大学 学生総合支援機構 附属ディスアビリティ・インクルージョンセンター（DIIN Center）について

京都大学 学生総合支援機構 附属ディスアビリティ・インクルージョンセンター（以下、DIIN Center）は、地域生活における社会的障壁（Disability）がどこにあり、なぜそこに生じているのかを問うとともに、それらを除去・軽減する方策を考え、実践していくために設立されました。
これまでの京都大学 DRC※での経験やノウハウをもとに、大学の豊富な資源や特色をいかしながら、多様なリソースを提供することで、互いに尊重し合える社会の実現に取り組んでいます。今後の取り組みから得た知見は、再び教育へ還元することで新たな循環を生み出すことを目指します。
※京都大学 DRC（Disability Resource Center）は、京都大学に在籍する障がいのある学生を支援する専門部署として、学生総合支援機構のなかに設置されています。
DIIN Center の詳細は https://www.assdr.kyoto-u.ac.jp/diin/ をご覧ください。

■ アクセンチュアの社会貢献活動について

アクセンチュアは、より持続可能で責任ある世界経済の実現に向け、クライアントやパートナー、地域コミュ

ニティと協力しながら社会的課題の解決に取り組んでいます。なかでも事業活動を通じて培った「人材のスキル発揮を高めるノウハウ」を活かし、高い実行力を持った NPO 団体等と協力しながら、各国・地域固有の実情に応じて、特にこれまで十分な機会を得られてこなかった人々の経済的自立を、就業・起業支援を中心に支援しています。活動にあたっては社員の直接参加を重視しており、取り組みの企画から実行まで、多様な専門知識をもった多くの社員が主体的に参画しています。社員の「時間とスキル」の積極的な提供を通じて、標準化、IT 活用、定量的管理、継続的改善といったさまざまなビジネスの手法を社会課題解決の領域に持ち込み、社会的インパクトを最大化することが私たちのミッションであると考えています。

アクセンチュアの社会貢献活動については https://www.accenture.com/jp-ja/about/corporate-citizenship をご覧ください。